



## 峰中生 八峰白神ジオパークを紹介

去る7月21日（月）、県内のジオパークの魅力を紹介する「あきたのジオパーク入門セミナー」が遊学舎（秋田市）でおこなわれました。

各ジオパークの名所をガイドが紹介するコーナーがあり、八峰白神ジオパークからは峰浜中学校3年生4名がガイド役として出演しました。

## 峰中生の通学路「何だ坂？こんな坂！」

紹介場所として選んだのは峰浜中学校そばの「坂道」です。

八峰町峰浜田中にあるこの坂道はなかなか急で、自転車通学の際に生徒たちが苦勞しているようです。昔から地域の人を悩ませていたらしく、人力で農作業を行なっていた時代には坂越えに大変な労力が必要で、「田中さ嫁にやるもんでね」との言い伝えがあったというほどです。田中周辺の生活はこの坂道とは切っても切れない関係にあるようです。

普段、わたしたちは「坂道がどのようにしてできたか？」と考える機会はなかなかありませんが、峰中生はジオパーク出前授業でこれを調べたことがあります。その結果、「活断層の働き」によってこの坂道ができたことに気付きました。

一見すると何の変哲もない身近な場所が、特異な自然現象によって出来ていること、



その場所が昔から地域の生活に影響をもたらしていることを生徒たちは知りました。そしてガイド役としてこの場所を紹介することになりました。

## 熱演に拍手喝采!!

迎えた発表当日、会場は大入りとなりました。生徒たちは「峰浜弁」をふんだんに使ったコミカルな演技をまじえながら、通学時の苦勞や「田中さ嫁にやるもんでね」、活断層と坂道の関係を堂々と紹介しました。

そのハツラツとした姿やわかりやすい説明に、会場は終始大きな笑い声と拍手に包まれていました。この大反響を受け、ナレーターは演者のうち2人の男子にこう告げて舞台を締め括りました。「お二人さん、嫁の心配はないですよー」と。

## ジオパークでみんな楽しく

峰中生は「ただの坂道」の隠れた特徴に気づき、それを人に伝える表現を磨きました。その結果、地域の特徴が「魅力」となり多くの人を楽しませることができました。

そして、自分たちも試行錯誤の過程が楽しかったそうです。このように、楽しみながら地域の魅力を伝える人々によってジオパークは支えられています。

〈出演者〉今回がんばったのはこちらの4名です。

（峰浜中学校三年）

日沼 謙公さん、松森 穂高さん、

奥村 仁奈さん、安保菜々子さん（順不同）

八峰白神ジオパーク推進協議会事務局 神垣 恭彦

八峰白神ジオパーク推進協議会

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116 旧岩館小学校内

TEL 0185-17812427